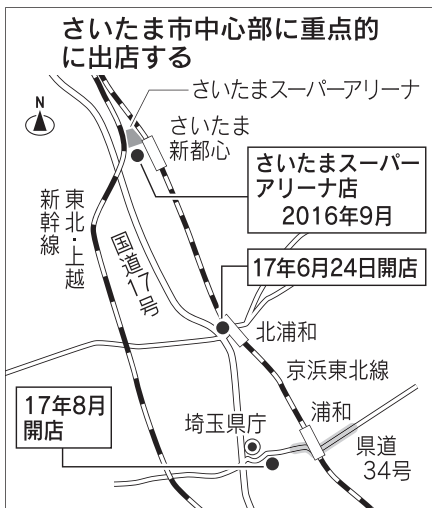


## さいたま市で店舗拡充

### 物流費を抑制 店員の融通も

#### やきとりのひびき

やきとりチェーン運営のひびき（埼玉県川越市）はさいたま市内の店舗網を拡充する。今夏に2店を新規出店し、会社員らの需要を開拓する。店舗間の距離が比較的近い地域の店舗網を手厚くすることで、物流費の抑制や人材確保の面のプラス効果を見込む。2020年6月期の売上高30億円の目標に向け、さいたま市内を重点開拓する。



今夏にJR北浦和駅（同市）前に持ち帰り専門店を、埼玉県庁近くに居酒屋タイプの店舗を開業する。2店の初期投資額は計約1億円。同社は東武東上線沿いの店舗が中心だが、昨年9月にさい

たまスーパーアリーナ店（同市）前に持ち帰り専門店を開業。さいたま市内の市場動向を探っていた。今年11月には新座市でも新店舗を開業する計画。人口や従業者数が多い武東上線沿いの店舗が中心だが、昨年9月にさい

たまスーパーアリーナ店（同市）前に持ち帰り専門店を開業。さいたま市内の市場動向を探っていた。今年11月には新座市でも新店舗を開業する計画。人口や従業者数が多い武東上線沿いの店舗が中心だが、昨年9月にさい

たまスーパーアリーナ店（同市）前に持ち帰り専門店を開業。さいたま市内の市場動向を探っていた。今年11月には新座市でも新店舗を開業する計画。人口や従業者数が多い武東上線沿いの店舗が中心だが、昨年9月にさい

たまスーパーアリーナ店（同市）前に持ち帰り専門店を開業。さいたま市内の市場動向を探っていた。今年11月には新座市でも新店舗を開業する計画。人口や従業者数が多い武東上線沿いの店舗が中心だが、昨年9月にさい

許諾番号30056165 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。  
©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。  
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。

だ。今夏に開業する新店舗には川越市内の工場からトラックで食材を運ぶ。さいたま市内に店舗を密集させることで、輸送効率を高める。近隣店舗でアルバイト店員を融通しやすい利点も生まれると期待している。

出店資金は借入金を中心に賄う方針だが、一部はインターネットで資金を募るクラウドファンディングで集める。

がつつある。売り上げ確保の新たな方策として、県庁近くの新店舗ではランチ終了後から夜の営業時間までの時間帯にパフェや菓子などを提供する。日正好春社長は「隙間時間でいかに稼ぐかが収益のカギになる」とみている。同社の16年6月期の売上高は18億1600万円。

壁紙に県産和紙を使うなど、埼玉の雰囲気強調する（浦和区の新店舗のイメージ）

飲食業界では人件費が高騰しており、黒字化に必要な売上高の水準が上